

日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム

V7.3-1 インストール・ガイド

AA-PU8JK-TE

2002 年 10 月

本書は、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム V7.3-1 をインストールする方法について説明します。日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム V7.3-1 をインストールする前に、必ず本書をお読みください。

改訂 / 更新情報:

新規マニュアルです。

ソフトウェア・バージョン:

日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1

コンパックコンピュータ株式会社

© 2002 Compaq Computer K.K.

本書の著作権はコンパックコンピュータ株式会社が保有しており、本書中の解説および図、表はコンパックの文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また、本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、コンパックは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

コンパックは、コンパックまたはコンパックの指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合、その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

以下は、米国 Compaq Computer Corporation の商標です。

COMPAQ, VAX, VMS および Compaq ロゴ。

Printed in Singapore.

本書は CD-ROM でも提供しています。

本書は、日本語 VAX DOCUMENT V 2.1を用いて作成しています。

目次

まえがき	vii
1 インストール前の準備	
1.1 ディストリビューション・キット	1-1
1.2 日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム V7.3-1 の構成	1-1
1.3 OpenVMS Alpha のライセンス・マネジメント・ファシリティ	1-2
1.4 必要なハードウェアの最小構成	1-3
1.5 必要なソフトウェア	1-3
1.5.1 標準版 OpenVMS Alpha V7.3-1	1-3
1.5.2 XPG4 ロケール・データ・ファイル	1-3
1.5.3 日本語 Compaq DECwindows Motif のバージョン	1-5
1.6 インストレーションに必要な時間	1-5
1.7 インストレーションに必要な特権	1-5
1.8 必要なディスク容量	1-5
1.9 必要なシステム・パラメータ	1-6
1.10 システム・ディスクのバックアップ	1-9
1.11 日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 より前のバージョンからのアップグレード	1-9
2 日本語版インストレーション	
2.1 インストレーション	2-1
2.2 インストレーションの手順	2-2

3	インストールシヨンの検証	
3.1	インストールシヨン検証プロセス (IVP)	3-1
4	インストールシヨン後の作業	
4.1	イニシャル・インストール後の作業	4-1
4.1.1	システムのスタートアップ	4-1
4.1.2	漢字ターミナルの設定	4-2
4.2	アップグレード後の作業	4-3
4.3	問題点の通知	4-4
5	エラー・リカバリ	
5.1	インストールシヨン・エラー	5-1
5.2	検証エラー	5-3
A	日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムのインストールシヨン例	
B	XPG4 ロケール・データ・ファイルのインストールシヨン例	
C	インストールシヨン検証プロセス (IVP) の出力例	
D	ファイル一覧	
D.1	JSY\$DICTIONARY	D-1
D.2	JSY\$EXAMPLES	D-1
D.3	JSY\$HELP	D-2
D.4	JSY\$LIBRARY	D-2
D.5	JSY\$SYSTEM	D-3
D.6	JSY\$TEST	D-4
D.7	SYS\$COMMON:[SYS\$KEYMAP.DECW.SYSTEM]	D-5
D.8	SYS\$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]	D-5
D.9	SYS\$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]	D-5

D.10	SYS\$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]	D-6
D.11	SYS\$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]	D-6
D.12	SYS\$COMMON:[SYSMSG.JA_JP]	D-6
D.13	SYS\$HELP	D-7
D.14	SYS\$LIBRARY	D-7
D.15	SYS\$LOADABLE_IMAGES	D-10
D.16	SYS\$MESSAGE	D-10
D.17	SYS\$STARTUP	D-10
D.18	SYS\$SYSTEM	D-11
D.19	SYS\$TEST	D-12
D.20	XTPU\$EXAMPLES	D-12

索引

まえがき

本書の目的

本書は、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム V7.3-1 をインストールする方法について説明します。標準版 OpenVMS Alpha のインストールについては関連資料を参照してください。

対象読者

本書は、システム管理者を対象としています。日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 をインストールする前に、必ず本書をお読みください。

本書の構成

本書は 5 つの章と 4 つの付録で構成されています。

- 第 1 章 日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 インストール・キットの構成、インストールに必要な資源など、日本語 OpenVMS Alpha をインストールする前の準備について説明します。
- 第 2 章 日本語 OpenVMS Alpha をインストールする手順について説明します。
- 第 3 章 日本語 OpenVMS Alpha が正しくインストールされたかどうかを検証する方法 (IVP) について説明します。
- 第 4 章 日本語 OpenVMS Alpha のインストール後に行う作業について説明します。
- 第 5 章 日本語 OpenVMS Alpha のインストールで発生する可能性のあるエラーと、それに対する処置について説明します。
- 付録 A 典型的な日本語 OpenVMS Alpha のインストール例を示します。
- 付録 B XPG4 ロケール・データ・ファイルのインストール例を示します。

- 付録 C 日本語 OpenVMS Alpha インストール・検証プロセスの出力例を示します。
- 付録 D 日本語 OpenVMS Alpha が提供するファイル一覧を示します。

関連資料

- 『日本語 OpenVMS V7.3-1 リリース・ノート』
- 『OpenVMS Alpha V7.3-1 リリース・ノート [翻訳版]』
- 『OpenVMS Alpha Version 7.3-1 Upgrade and Installation Manual』
- 『OpenVMS License Management Utility Manual』
- 『OpenVMS システム管理者マニュアル』
- 『OpenVMS システム管理者ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』

本書で使用する表記法

本書では、日本語 OpenVMS Alpha は日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムを指します。

また、日本語 DECwindows および日本語 DECwindows Motif はすべて日本語 Comopaq DECwindows Motif for OpenVMS ソフトウェアを意味します。

本書では、下記の表記法を使用します。

表記法	意味
Ctrl/x	Ctrl/x という表記は、Ctrl キーを押しながら別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
PF1 x	PF1 x という表記は、PF1 に定義されたキーを押してから、別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
Return	例の中で、キー名が四角で囲まれている場合には、キーボード上でそのキーを押すことを示します。テキストの中では、キー名は四角で囲まれていません。 HTML 形式のドキュメントでは、キー名は四角ではなく、括弧で囲まれています。

表記法	意味
...	例の中の水平方向の反復記号は、次のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 文中のオプションの引数が省略されている。 • 前出の1つまたは複数の項目を繰り返すことができる。 • パラメータや値などの情報をさらに入力できる。
.	垂直方向の反復記号は、コードの例やコマンド形式の中の項目が省略されていることを示します。このように項目が省略されるのは、その項目が説明している内容にとって重要ではないからです。
()	コマンドの形式の説明において、括弧は、複数のオプションを選択した場合に、選択したオプションを括弧で囲まなければならないことを示しています。
[]	コマンドの形式の説明において、大括弧で囲まれた要素は任意のオプションです。オプションをすべて選択しても、いずれか1つを選択しても、あるいは1つも選択しなくても構いません。ただし、OpenVMSファイル指定のディレクトリ名の構文や、割り当て文の部分文字列指定の構文の中では、大括弧に囲まれた要素は省略できません。
[]	コマンド形式の説明では、括弧内の要素を分けている垂直棒線はオプションを1つまたは複数選択するか、または何も選択しないことを意味します。
{ }	コマンドの形式の説明において、中括弧で囲まれた要素は必須オプションです。いずれか1のオプションを指定しなければなりません。
太字	太字のテキストは、新しい用語、引数、属性、条件を示しています。
<i>italic text</i>	イタリック体のテキストは、重要な情報を示します。また、システム・メッセージ(たとえば内部エラー <i>number</i>)、コマンド・ライン(たとえば <i>/PRODUCER=name</i>)、コマンド・パラメータ(たとえば <i>device-name</i>)などの変数を示す場合にも使用されます。
UPPERCASE TEXT	英大文字のテキストは、コマンド、ルーチン名、ファイル名、ファイル保護コード名、システム特権の短縮形を示します。
Monospace type	モノスペース・タイプの文字は、コード例および会話型の画面表示を示します。 Cプログラミング言語では、テキスト中のモノスペース・タイプの文字は、キーワード、別々にコンパイルされた外部関数およびファイルの名前、構文の要約、または例に示される変数または識別子への参照などを示します。
-	コマンド形式の記述の最後、コマンド・ライン、コード・ラインにおいて、ハイフンは、要求に対する引数がその後の行に続くことを示します。

表記法	意味
数字	特に明記しない限り，本文中の数字はすべて 10 進数です。10 進数以外 (2 進数，8 進数，16 進数) は，その旨を明記してあります。

インストール前の準備

この章では日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムのインストール前の準備について説明します。

1.1 ディストリビューション・キット

日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムで提供されるキットはイニシャル・キットであり、標準版 OpenVMS Alpha V7.3-1 を日本語化するためのモジュールのみを含んでいます。次のユーザはこのキットを使用してください。

- 新規に日本語 OpenVMS Alpha を使用するユーザ
- 日本語 OpenVMS Alpha V7.1-2, V7.2-1, V7.2-2, V7.3 をアップグレードし、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム V7.3-1 にするユーザ

1.2 日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム V7.3-1 の構成

日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 は、PCSI キットです。キットのファイル名は以下のとおりです。

```
DEC-AXPVMS-JVMS-V0703-1-1.PCSI
```

注意

PCSI キットをインストールするためには、POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティを使用します。VMSINSTAL ではインストールできませんのでご注意ください。

POLYCENTER ユーティリティでのインストール作業中に、オプションを選択するための質問が表示されることがありますが、日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 は選択可能なオプションはありません。

1.3 OpenVMS Alpha のライセンス・マネジメント・ファシリテイ

日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 を使用するユーザは、必ずソフトウェア・ライセンスを登録しなければなりません。ライセンスの登録は、日本語 OpenVMS Alpha のインストール時に行ってください。ライセンスを登録するための情報は、日本語 OpenVMS Alpha と一緒に出荷される、プロダクト・オーソライゼーション・キー (PAK) に含まれています。PAK はライセンス情報が記載されている用紙です。

日本語 OpenVMS Alpha のライセンスは、インストレーションの前でも後でも登録できますが、インストレーションの前に行うことをお勧めします。日本語 OpenVMS Alpha ではインストレーション中に、ライセンスを登録しキーをロードしたかどうかを確認するようになっています。ライセンスの登録とキーのロードを行っていない場合は、インストレーションを行うことはできますが、日本語 OpenVMS Alpha を使用したり、IVP を実行したりすることはできません。ライセンスを登録し、キーをロードして初めて、日本語 OpenVMS Alpha を使用したり、IVP を実行したりすることができます。

ライセンスを登録する方法には、次の 2 つがあります。

1. コマンド・プロシージャ SYSSUPDATE:VMSLICENSE.COM を使用する
2. DCL コマンド LICENSE REGISTER を使用する

詳細は『OpenVMS License Management Utility Manual』を参照してください。

1.4 必要なハードウェアの最小構成

日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 は、Alpha AXP アーキテクチャの機種で動作します。また、日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 が動作するためには以下の環境が必要です。

- ディスク装置
システムをインストールするのに十分な容量を持った、RA、RF または RZ シリーズのディスク装置が必要です。
- メイン・メモリ
最低 64MB 以上のメイン・メモリが必要です。
- 端末装置
コンソールおよび漢字ディスプレイ端末装置が必要です。ただし、ワークステーションの場合には、これらは不要です。

1.5 必要なソフトウェア

1.5.1 標準版 OpenVMS Alpha V7.3-1

日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 をインストールするためには、標準版 OpenVMS Alpha が V7.3-1 であることが必要です。インストールの方法については『OpenVMS Alpha Version 7.3-1 Upgrade and Installation Manual』を参照してください。

1.5.2 XPG4 ロケール・データ・ファイル

標準版 OpenVMS Alpha V7.3-1 のインストール後、XPG4 ロケール・データ・ファイル・キットのインストールが必要です。ロケール・データ・ファイルは、標準版 OpenVMS Alpha V6.2 からサポートされるようになった、XPG4 ランタイム・ライブラリおよびユーティリティで使用されるもので、独立したキットで提供されています。

インストール前の準備 1.5 必要なソフトウェア

キット名は ALPVMSI18N02_073 で、標準版 OpenVMS Alpha V7.3-1 に付属の Layered Products CD-ROM および日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 CD-ROM の両方に含まれていますので、どちらからでもインストールすることが可能です。日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 CD-ROM からインストールする場合の手順は次のとおりです。

1. システム・マネージャのアカウントにログインして、次のコマンドで日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 CD-ROM をマウントします。

```
$ MOUNT/OVER=ID ddcu:
```

ここで ddcu: CD-ROM ドライブの装置名を指定します。

2. マウント後、次のコマンドを入力して VMSINSTAL を起動します。

```
$ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL ALPVMSI18N02_073 ddcu:[VMSI18N_ALPHA073.KIT]
```

3. VMSINSTAL の初期メッセージが表示された後、各国語サポートに関する質問が表示されます。このうち、日本語サポートについて "Yes" と入力してください。日本語サポート以外のインストールは必須ではありませんので、"No" を入力します。実際の質問は次のとおりです。

```
* Do you want European and US support [YES]?  
* Do you want GB18030 support [YES]?  
* Do you want Chinese support (not including GB18030) [YES]?  
* Do you want Japanese support [YES]?  
* Do you want Korean support [YES]?  
* Do you want Thai support [YES]?  
* Do you want Unicode support [YES]?
```

日本語サポートのみを選択した場合、インストール時に必要なディスク容量は約 10,000 ブロックです。

注意

日本語サポート以外のインストールは、日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 をインストールするための必須インストールではありません。また、US サポートは標準版 OpenVMS Alpha V7.3-1 のインストールにより提供されています。もし、すべての質問に対して "YES" と答えた場合、システム・ディスク上で約 100,000 ブロックの容量を占めますので、ご注意ください。

インストールの例を付録 B に示しますので参照してください。

1.5.3 日本語 Compaq DECwindows Motif のバージョン

日本語 OpenVMS V7.3-1 でサポートされる日本語 Compaq DECwindows Motif はバージョン 1.2-4 以上です。詳しくは、第 1.11 節の日本語 Compaq DECwindows Motif のインストールの項を参照してください。

1.6 インストールに必要な時間

日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 すべてをインストールするためには、約 15 分かかります (DEC3000 Model 400 AXP の場合)。

1.7 インストールに必要な特権

- POLYCENTER ユーティリティの実行のために、少なくとも CMKRNL, OPER, SYSLCK, SYSPRV, TMPMBX の特権が必要です。
- その他、日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 の JSYS\$STARTUP.COM の実行のために、PRMGBL, SYSGBL, DETACH, PHY_IO, SYSNAM の特権が必要です。

1.8 必要なディスク容量

日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 をインストールするために必要なディスクの空きブロックは、インストール時に約 95,000 ブロック、インストール後で約 93,000 ブロックです。ディスクの空きブロックが十分でないときは、不必要なファイルを消すなどの処置をとってください。

なお、現在のディスクの空きブロックは、次のようにして調べることができます。

```
$ SHOW DEVICE device-name
```

1.9 必要なシステム・パラメータ

日本語システムのユーティリティは、インストレーション後に次表の値のグローバル・ページ、およびグローバル・セクションを必要とします。

ユーティリティとイメージ	グローバル・ページ	グローバル・セクション
CMGR		
CMGRDISPSHR.EXE	224	2
CMGRSHR.EXE	256	2
FIP		
FIP.EXE	304	2
FIP\$CONTROL.EXE	48	1
FIPMSG.EXE	48	1
FIPSHR.EXE	112	2
IMSARKSHR.EXE	48	1
IM\$KKCSHR.EXE	48	1
IM\$HMJSYVECSHR.EXE	48	1
IM\$HMSHR.EXE	256	2
IMLIB		
IM\$MESSAGE.EXE	48	1
IM\$SHR.EXE	176	2
JMAIL		
JMAIL.EXE	352	2
JMAILMSG.EXE	64	1
JMAILSHR.EXE	432	3
JMAILSHRP.EXE	448	3
日本語共用イメージ		
JSYSHR.EXE	512	6
JSYSHRP.EXE	144	3
JSY\$KKSHR.EXE	384	2
日本語画面制御ライブラリ		
JSY\$SMGSHR.EXE	1,008	3
KANJIGEN		

ユーティリティとイメージ	グローバル・ページ	グローバル・セクション
KANJIGEN.EXE	128	2
KINQUIRE		
KINQ.EXE	48	1
JSORT		
SORJPNICT.EXE	48	1
SORTDTYPE.EXE	128	2
TYPE		
TYPE.EXE	128	2
JSYSUTIL\$SHARE	176	2
CLIUTLMSG	288	1
DEC XTPU		
JEVESSECTION_V3.XTPUSSECTION	2,704	1
XTPU.EXE	48	1
XTPUMSG.EXE	192	1
XTPUSHR.EXE	1,648	2
XTPUSCCTSHR.EXE	48	1
XTPUSCSSHR_JA_JP.EXE	416	2
XTPUSMOTIFSHR.EXE	64	1
日本語ファイル名サポート		
JSYS\$BACKUP.EXE	0	0
JSYS\$SETSHOSECUR.EXE	112	1
合計	11,136	62

注意

表のグローバル・ページの単位はページレット (512 バイト) であることに注意してください。また、インストールするのに必要なグローバル・ページの値は、システムのページ・サイズによって多少変わります。表はシステムのページ・サイズが 8 キロバイトのときの値を表しています。

インストール前の準備 1.9 必要なシステム・パラメータ

日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 のインストールには、グローバル・ページの空きが 12,000 ページ、グローバル・セクションの空きが 63 セクション必要です。日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 のインストレーション・プロシージャは、グローバル・ページおよびグローバル・セクションの空きを調べ、その値が上の数字に満たない場合はインストレーションを中断します。

現在のシステムのグローバル・ページおよびグローバル・セクションの空きは、次のようにして調べることができます。

```
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("FREE_GBLPAGES")  
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("FREE_GBLSECTS")
```

グローバル・ページ、およびグローバル・セクションの値は次のようにして変更することができます。

1. SYSS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT に追加

次の行を SYSS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT に加えてください。

```
GBLPAGES=<グローバル・ページの値(ページレット)>  
GBLSECTIONS=<グローバル・セクションの値>
```

あるいは、次の行でもかまいません。

```
ADD_GBLPAGES=<追加するグローバル・ページの値(ページレット)>  
ADD_GBLSECTIONS=<追加するグローバル・セクションの値>
```

2. AUTOGEN をかける

次のように AUTOGEN を実行してください。

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT NOFEEDBACK
```

システムがシャット・ダウンされリブートされます。グローバル・ページとグローバル・セクションの値は、SYSS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT に書かれた値に変更されます。

1.10 システム・ディスクのバックアップ

インストール中に問題が発生したときのために、あらかじめシステム・ディスクのバックアップをとっておくことをお勧めします。バックアップ実行の詳細については、『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください。

1.11 日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 より前のバージョンからのアップグレード

日本語 OpenVMS Alpha V7.1-2, V7.2-1, V7.2-2, V7.3 から日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 にアップグレードする場合は、必ず以下の手順で行うようにしてください。

1. 日本語 Compaq DECwindows Motif のバージョンアップ

—— 日本語 Compaq DECwindows Motif を実行していない場合 ——

ワークステーションで日本語 Compaq DECwindows Motif を実行していない場合は、この作業は必要ありませんので 4 の作業へ進んでください。

日本語 OpenVMS V7.3-1 でサポートされる日本語 Compaq DECwindows Motif のバージョンは V1.2-4 以上です。V1.2-4 より前のバージョンをお使いの場合は、あらかじめ V1.2-4 以上へのアップグレードを行ってください。

なお、日本語 OpenVMS V7.3-1 の CD-ROM には日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2-6 が含まれていますので、V1.2-6 へのアップグレードをお勧めします。

2. 日本語 Compaq DECwindows Motif 言語設定の変更

ワークステーションで日本語 Compaq DECwindows Motif を実行していて、SYSTEM アカウントのセッション・マネージャの言語設定が「日本語」になっている場合は、「US English」に変更してください。

インストール前の準備

1.11 日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 より前のバージョンからのアップグレード

3. 日本語 Compaq DECwindows Motif の削除

OpenVMS のアップグレードと同時に Compaq DECwindows Motif のアップグレードを行う場合は、アップグレード作業の前に日本語 Compaq DECwindows Motif を削除しておく必要があります。詳しくは、日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2-6 の『インストール・ガイド』を参照してください。

4. SYS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM の編集

SYS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM をエディタで編集して、日本語 OpenVMS Alpha のスタートアップ・プロシージャの行を以下のようにコメント・アウトしてください。

```
$! @SYS$STARTUP:JSY$STARTUP.COM
```

この作業を行わないと、後の作業で警告メッセージが表示されます。

5. 標準版 OpenVMS Alpha V7.3-1 へのアップグレード

標準版 OpenVMS Alpha V7.3-1 のキットを用いて、標準版 OpenVMS Alpha のアップグレードを行ってください。アップグレードの方法については『OpenVMS Alpha Version 7.3-1 Upgrade and Installation Manual』を参照してください。

Compaq DECwindows Motif のアップグレードを行う場合は、ここで同時に行うことができます。

注意

日本語 TCP/IP をインストールしている場合は、標準版の TCP/IP はインストールしないようにしてください。

6. XPG4 ロケール・データ・ファイル・キットのインストール

ロケール・データ・ファイル・キット ALPVMSI18N02_073 をインストールを行ってください。インストールの手順は第 1.5.2 項を参照してください。

7. 日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 へのアップグレード

日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 のインストールを行ってください。以後の作業については、第 2 章 "日本語インストール" およびそれ以降の章を参照してください。

8. 日本語 Compaq DECwindows Motif のインストール

日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 でサポートされる日本語 Compaq DECwindows Motif のバージョンは V1.2-4 以上です。次の表に従って、必要な作業を決定してください。

現在の日本語 Compaq DECwindows Motif のバージョン	日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 アップグレード前に必要な作業
V1.2-4 より前	日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2-4 以上のバージョンへのアップグレード
V1.2-4	英語版 Compaq DECwindows V1.2-4 の 2000 年対応キット (ALPMOTF03_U4012.A) のインストールが必要です
V1.2-5 , V1.2-5A	日本語 Compaq DECwindows V1.2-4 修正キットのインストールをお勧めします 英語版 Compaq DECwindows Motif V1.2-5 の修正キットのインストールが必要です
V1.2-6	特別な作業は必要ありません

日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2-5 , V1.2-5A , または V1.2-6 を使う場合、修正ファイルをコピーします。修正ファイルは日本語 OpenVMS V7.3-1 CD-ROM の [000000] に提供されます。次の例のようにコマンド・プロシージャを実行するとファイルがコピーされます。

インストール前の準備

1.11 日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 より前のバージョンからのアップグレード

```
$ @ ddcu:[000000]v731copyfiles.com
```

9. 日本語 TCP/IP のインストレーション

日本語 TCP/IP を使用する場合は、V5.3 をインストールしてください。

日本語版インストール

この章では、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム V7.3-1 のインストールの手順について説明します。

2.1 インストール

日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム V7.3-1 は、標準版 OpenVMS Alpha の POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティ (PCSI) プロシージャでインストールされます。キットのファイル名は DEC-AXPVMS-JVMS-V0703-1-1.PCSI です。

日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 をインストールする前に、『OpenVMS システム管理者マニュアル』の「POLYCENTER Software Installation ユーティリティ」の項を参照してください。

さらに、日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 をインストールする前に、次のことを確認してください。

1. 標準版 OpenVMS Alpha が V7.3-1 である
2. XPG4 ロケール・データ・ファイルがインストールされている (詳細は、第 1.5.2 項を参照)
3. 十分なディスク・スペースがある (詳細は、第 1.8 節を参照)
4. システムに十分なグローバル・ページとグローバル・セクションがある (詳細は、第 1.9 節を参照)
5. 日本語 OpenVMS Alpha V7.1-2, V7.2-1, V7.2-2, V7.3 からのアップグレードの場合、第 1.11 節に示されている準備が終了している

2.2 インストールの手順

この節では、日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 のインストールの手順を説明します。

注意

日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 では、POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティを使用してインストールを行います。従来の VMSINSTAL ではインストールできませんのでご注意ください。

日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 をインストールするためには、システム・マネージャのアカウントにログインして、次のコマンドを入力し、POLYCENTER ユーティリティを実行します。

```
$ PRODUCT INSTALL JVMS /SOURCE=device:[directory]
```

ここで、device はキットの存在するデバイス、directory はキットの存在するディレクトリです。

source 修飾子を指定しなかった場合、POLYCENTER ユーティリティは論理名 PCSI\$SOURCE で指定された場所を検索します。source 修飾子も PCSI\$SOURCE も指定しなかった場合は、POLYCENTER ユーティリティはデフォルト・ディレクトリを検索します。

キットを見つけると、POLYCENTER ユーティリティは以下のメッセージを表示します。

```
The following product has been selected:  
  DEC AXPVMS JVMS V7.3-1                Layered Product  
Do you want to continue? [YES]
```

ここでインストールされるキットが正しく日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 を示していることを確認してください。

YES と答えると、次のメッセージが表示されます。

```
Configuration phase starting ...
```

```
You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for  
any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.
```

```
DEC AXPVMS JVMS V7.3-1
```

```
Do you want the defaults for all options? [YES]
```

ここでオプションの選択のための質問が表示されますが、日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 では選択可能なオプションはありませんので、YES と答えてください。

```
Do you want to review the options? [NO]
```

確認のために、選択したオプションを表示するかどうかの質問です。日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 では選択可能なオプションはありませんので、NO と答えてください。

以上の質問に答えると、日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 のインストールが開始されます。

```
Execution phase starting ...
```

```
The following product will be installed to destination:
```

```
DEC AXPVMS JVMS V7.3-1          DISK$ALPHASYS:[VMS$COMMON.]
```

```
Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100%
```

ゲージが 100%に達すると、ファイルをシステムに転送する作業は完了です。以下のメッセージが表示され、IVP が実行されます。

```
The following product has been installed:
```

```
DEC AXPVMS JVMS V7.3-1          Layered Product
```

```
%PCSI-I-IVPEXECUTE, executing test procedure for DEC AXPVMS JVMS V7.3-1 ...
```

IVP が正常に完了すると、以下のメッセージが表示され、インストールは完了です。

日本語版インストール
2.2 インストールの手順

```
%PCSI-I-IVPSUCCESS, test procedure completed successfully
DEC AXPVMS JVMS V7.3-1

This product requires the following SYSGEN parameters:
  TTY_CLASSNAME value TT

This product requires the following SYSGEN parameters:
  GBLPAGES add 12000

This product requires the following SYSGEN parameters:
  GBLSECTIONS add 63

Insert the following lines in SYS$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM:
  @SYS$STARTUP:JSY$STARTUP.COM

$
```

POLYCENTER ユーティリティが終了したら、インストール後の作業を行い、システムをリブートしてください。

インストール後の作業については、第 4 章を参照してください。

また、インストールや IVP でエラーが起きたときは、第 5 章を参照して対処してください。

インストールの検証

この章では、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムがうまくインストールされたかどうかを検証する方法について説明します。

3.1 インストール検証プロシージャ (IVP)

日本語 OpenVMS Alpha のキットには、日本語 OpenVMS Alpha が正しくインストールされたかどうかを確認するための、インストール検証プロシージャ (IVP) が含まれています。IVP (JSY\$IVP.COM) は、SYS\$TEST に置かれます。

IVP は、日本語 OpenVMS Alpha の主な 14 個のユーティリティについてのテストから構成されており、このコマンド・プロシージャが正常終了した場合は、日本語 OpenVMS Alpha が正しくインストールされたことを示します。

日本語 OpenVMS Alpha のインストール時に IVP の実行を指定すると、VMSINSTAL は、日本語 OpenVMS Alpha の各ユーティリティがインストールされた後に IVP を起動します。

また、日本語 OpenVMS Alpha のインストール後に PAK を登録しロードした後に、単独で IVP を実行することもできます。その場合には、次のように入力して IVP を起動します。ただし、この操作には SYSPRV 特権が必要です。

```
$ @SYS$TEST:JSY$IVP.COM
```

IVP は、日本語 OpenVMS Alpha の 14 個のユーティリティが、それぞれインストールされているかどうかを判断し、インストールされていたならば、そのユーティリティについてのテストを実行します。

インストールの検証

3.1 インストール検証プロシージャ (IVP)

各ユーティリティそれぞれについてのテストが終了した時点で、そのユーティリティに問題が発見された場合、エラー・メッセージが出力されます。そして、14個のテストすべてが終了した後に、日本語 OpenVMS Alpha のインストールが成功したかどうかのメッセージが出力されます。エラー・メッセージは JSY\$TEST:ERROR.DAT にも出力されます。

すべてのユーティリティについてのテストの実行ではなく、1つのユーティリティについてだけテストを実行することができます。その場合には、次のように入力してください。

```
$ @JSY$TEST:IVP_SETUP.COM [ユーティリティ・テスト名]
```

たとえば、KCODE ユーティリティの場合には、次のように入力します。

```
$ @JSY$TEST:IVP_SETUP.COM IVP_KCODE
```

上記の@SYS\$TEST:JSY\$IVP.COM は、すべてのユーティリティのテストを実行します。これらのユーティリティのユーティリティ・テスト名を実行する順番に示します。

```
IVP_CMGR  
IVP_FIP  
IVP_JCOBOL  
IVP_JDICEDIT  
IVP_JMAIL  
IVP_JSORT  
IVP_KANJIGEN  
IVP_KCODE  
IVP_KCONVERT  
IVP_KINQUIRE  
IVP_NCOBOL  
IVP_TMH  
IVP_XTPU  
IVP_JSNA
```

ただし、テストはインストールされているユーティリティについてだけ実行されます。IVP が正しく実行されるためには、JSY\$TEST:F_[ユーティリティ名].DAT が JSY\$TEST に存在していなければなりません。もし、それらが無いとエラー・メッセージが出力されます。また、ファイル F_NECESSARY.DAT も存在しなければなりません。

IVP の実行を途中で止めたい時は **Ctrl/Y** を押してください。

IVP が、正常に終了した場合の出力メッセージについては、付録 C を参照してください。

インストール後の作業

この章では、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムのインストール後の作業について説明します。

4.1 イニシャル・インストール後の作業

日本語 OpenVMS Alpha を初めてシステムにインストールした場合は、インストール後に次の作業を行ってください。なお、日本語 OpenVMS Alpha V7.1-2, V7.2-1, V7.2-2, V7.3 からアップグレードを行った場合は、第 4.2 節 "アップグレード後の作業" をご覧ください。アップグレードの場合には、以下の作業は必要ありません。

4.1.1 システムのスタートアップ

日本語 OpenVMS Alpha を使用する前に、論理名やノウン・イメージなどの初期化が必要です。標準版 OpenVMS Alpha を立ち上げたときに、日本語 OpenVMS Alpha も自動的に初期化されるように以下の作業を行ってください。

1. 日本語スタートアップの追加

`SYSS$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM` に次のように日本語 OpenVMS スタートアップ・プロシージャを実行する行を追加してください。

```
$ @SYSS$STARTUP:JSY$STARTUP.COM
```

なお、テンプレート・ファイル `JSY$STARTUP.TEMPLATE` を編集することにより、ユーザ独自のスタートアップ・ファイル `JSY$STARTUP.COM` を作成することも可能です。

インストール後の作業

4.1 イニシャル・インストール後の作業

2. 日本語ロケールの設定

システムの省略時のロケールを設定する時は、次のコマンドを SYS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM に追加してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM/EXEC SYS$LANG "ja_JP.sdeckanji"
```

この例では省略時のロケールを ja_JP.sdeckanji に設定しています。設定可能な日本語ロケールは次の 5 つのいずれかです。

```
ja_JP.deckanji  
ja_JP.sdeckanji  
ja_JP.deckanji2000  
ja_JP.eucJP  
ja_JP.sjis
```

3. 日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 のスタート

システムをリブートしてください。日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 がスタートします。OpenVMS Cluster システムで、ライセンスがロードされていないために日本語 OpenVMS Alpha が実行できないときは、LICENSE LOAD コマンドでライセンスをロードしてください。

詳細は、『OpenVMS License Management Utility Manual』を参照してください。

4.1.2 漢字ターミナルの設定

実際に日本語ユーティリティを使用する前に、漢字ターミナルの設定を行わなければなりません。

詳細は、『日本語 OpenVMS 概説書』を参照してください。

4.2 アップグレード後の作業

日本語 OpenVMS Alpha V7.1-2, V7.2-1, V7.2-2, V7.3 から日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 にアップグレードを行った場合には、以下の作業を行ってください。

1. SYSS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM の復旧

アップグレードの作業を行う前にコメント・アウトをした SYSS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM 中の日本語 OpenVMS Alpha の スタートアップ・プロシージャをもとにもどし、システムのブート時に日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 が起動するようにしてください。

```
$ @SYSS$STARTUP:JSY$STARTUP.COM
```

2. 日本語ロケールの設定

システムの省略時のロケールを設定する時は、次のコマンドを SYSS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM に追加してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM/EXEC SYS$LANG "ja_JP.deckanji2000"
```

この例では省略時のロケールを ja_JP.deckanji2000 に設定しています。設定可能な日本語ロケールは次の 5 つのいずれかです。

```
ja_JP.deckanji  
ja_JP.sdeckanji  
ja_JP.deckanji2000  
ja_JP.eucJP  
ja_JP.sjis
```

3. 日本語 Compaq DECwindows Motif の言語設定

ワークステーションで日本語 Compaq DECwindows Motif を実行していて、日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 へのアップグレード前に SYSTEM アカウントのセッション・マネージャの言語設定を「日本語」から「US English」に変更した場合は、「日本語」に戻してください。

4. 日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 のスタート

システムをリブートしてください。システムの設定が変更され日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 がスタートします。

5. 日本語 TCP/IP のインストール

日本語 TCP/IP を使用する場合には、以下の作業を行ってください。

a. 英語版 TCP/IP V5.3 を削除する

例：

```
$ product remove tcpip
```

b. 日本語 TCP/IP V5.3 をインストールする

例：

```
$ product install tcpipja /source=<disk>:[directory]
```

詳しくは『日本語 Compaq TCP/IP Services for OpenVMS インストール・コンフィギュレーション・ガイド』を参照してください。

4.3 問題点の通知

本ソフトウェアについては、弊社所定のソフトウェア保証基準に定められた保証が提供されますので、その内容にしたがった処置を取ってください。

なお、ご不明な点につきましては、弊社の各支店/営業所にお問い合わせください。

エラー・リカバリ

この章では、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムのインストールで発生する可能性のあるエラーと、その対処方法について説明します。

5.1 インストール・エラー

エラー、 %JSYVMSAXP-E-BADVMS, OpenVMS/Japanese Alpha V7.3-1
requires OpenVMS Alpha V7.3-1

対処方法: 標準版 OpenVMS Alpha のバージョンが 7.3-1 ではないので、標準版 OpenVMS Alpha V7.3-1 のキットをインストールしてから、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム V7.3-1 EFT 版をインストールします。

エラー、 %JSYVMSAXP-E-NOLOCALE, Japanese locale data files are not
installed on this system.
%JSYVMSAXP-E-NOLOCALE, You must install VMSI18N0731 kit first.

対処方法: ロケール・データ・ファイル・キット VMSI18N0731 がインストールされていない、または VMSI18N0731 インストール時に日本語サポートが選択されていません。VMSI18N0731 キットから日本語サポートをインストールしてから、日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 本体をインストールします。

エラー, %JSYVMSAXP-E-BADCONFIG, this system is not configured to
install OpenVMS/Japanese Alpha

(1): 現在のシステム・ディスクのフリー・ブロック数が、日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 のインストールに必要な最低限のフリーブロック数に満たない場合には、次のメッセージを表示します。

You must have 88,000 free blocks to install.

This system is not configured correctly. Please see
'OpenVMS/Japanese Alpha installation guide' for preparing
your system to install.

対処方法: システム・ディスクのスペースが足りないので、不必要なファイルを消去するなどの対処をしてください。詳細は、第 1.8 節を参照してください。

(2): 日本語 OpenVMS Alpha V7.3-1 をインストールするために必要なグローバル・ページ、またはグローバル・セクションが不足している場合には、次のメッセージを表示します。

You must have 12,000 global pages, and 54 global sections to perform
to install.

This system is not configured correctly. Please see
'OpenVMS/Japanes Alpha installation' guide for preparing
your system to install.

対処方法: 本書の第 1.9 節を参照してください。

エラー, %JSYVMSAXP-E-INVTTY, terminal class driver is not TTDRIVER
-JSYVMSAXP-E-INVTTY, this may cause some unrecoverable system
failure

対処方法: ターミナル・ドライバが標準の TTDRIVER でないため, インストールが中断されます。システム・パラメータの TTY_CLASSNAME を "TT" に設定し直した後, システムをリブートしてください。システム・パラメータの設定の詳細については, 『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください。

5.2 検証エラー

日本語 OpenVMS Alpha のインストール検証時のエラーには, 以下のよう
なものがあります。

エラー, %DCL-E-OPENIN, error opening SYS\$TEST:[directory]JSY\$IVP.COM;
as input
-RMS-F-DEV, error in device name or inappropriate device type for
operation

対処方法: 論理名 JSY\$TEST が定義されていないので, 日本語 OpenVMS
Alpha のスタートアップ・プロシージャ
SYS\$STARTUP:JSY\$STARTUP.COM を実行し, JSY\$TEST に,
SYS\$COMMON:[SYSTEST.JSY]を割り当ててください。

詳細は, 第 4 章を参照してください。

エラー・リカバリ
5.2 検証エラー

エラー, %RMS-E-PRV, insufficient privilege on file protect violation

対処方法: SYSPRV 特権がプロセスについていないので, 以下のようにして, この特権を付けるか, 特権を持ったアカウント (SYSTEM など) から実行してください。

```
$ SET PROCESS/PRIVILEGES=SYSPRV
```

日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムのインストール例

ここでは、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムのインストールの例を示します。

例

```
$ product instal jvms /source=dka400:[000000]

The following product has been selected:
    DEC AXPVMS JVMS V7.3-1                Layered Product

Do you want to continue? [YES]
Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for
any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

DEC AXPVMS JVMS V7.3-1

Do you want the defaults for all options? [YES]
Do you want to review the options? [NO]
Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:
    DEC AXPVMS JVMS V7.3-1                DISK$ALPHASYS:[VMS$COMMON.]

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100%

The following product has been installed:
    DEC AXPVMS JVMS V7.3-1                Layered Product

%PCSI-I-IVPEXECUTE, executing test procedure for DEC AXPVMS JVMS V7.3-1 ...
%PCSI-I-IVPSUCCESS, test procedure completed successfully

DEC AXPVMS JVMS V7.3-1
```

日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムのインストール例

This product requires the following SYSGEN parameters:
TTY_CLASSNAME value TT

This product requires the following SYSGEN parameters:
GBLPAGES add 12000

This product requires the following SYSGEN parameters:
GBLSECTIONS add 63

Insert the following lines in SYS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM:
@SYS\$STARTUP:JSY\$STARTUP.COM

\$

B

XPG4 ロケール・データ・ファイルのインストール シヨソ例

ここでは、XPG4 ロケール・データ・ファイルのインストールの例を示します。

例

```
$ @sys$update:vmsinstal ALPVMSI18N02_073 DKA400:[VMSI18N_ALPHA073.KIT]
```

```
OpenVMS AXP Software Product Installation Procedure V7.3-1
```

```
It is 31-JUL-2002 at 14:59.
```

```
Enter a question mark (?) at any time for help.
```

```
%VMSINSTAL-W-ACTIVE, The following processes are still active:
```

```
TCPIP$FTP_1
```

```
* Do you want to continue anyway [NO]? y
```

```
* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]? y
```

```
The following products will be processed:
```

```
ALPVMSI18N02_ V7.3
```

```
Beginning installation of ALPVMSI18N02_ V7.3 at 14:59
```

```
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A ...
```

```
%VMSINSTAL-I-REMOVED, Product's release notes have been moved to SYS$HELP.
```

```
XPG4 Internationalization Datafiles for OpenVMS systems
```

XPG4 ロケール・データ・ファイルのインストール例

```
*****
* Copyright 2001 Compaq Information Technologies Group, L.P.
*
* Compaq and the Compaq logo are trademarks of Compaq Information
* Technologies Group, L.P. in the U.S. and/or other countries.
*
* Confidential computer software. Valid license from Compaq required for
* possession, use or copying. Consistent with FAR 12.211 and 12.212,
* Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and
* Technical Data for Commercial Items are licensed to the U.S. Government
* under vendor's standard commercial license.
*****

* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]? y
* Do you want European and US support [YES]? n
* Do you want GB18030 support [YES]? n
* Do you want Chinese support (not including GB18030) [YES]? n
* Do you want Japanese support [YES]? y
* Do you want Korean support [YES]? n
* Do you want Thai support [YES]? n
* Do you want Unicode support [YES]? n

    This kit contains an Installation Verification Procedure (IVP) to
    verify the correct installation of this kit. The IVP will be placed in:

        SYS$TEST:LOCALE_IVP.COM

    After the installation is complete, you can invoke the command file at
    any time to reverify that the files are installed and working correctly.

* Do you want to run the IVP after the installation [YES]? y

    All questions and verifications regarding the installation of the
    XPG4 Internationalization Components have been completed.

    Depending on your configuration, and the installation options
    which you have selected, time estimates for the remainder of the
    installation are 1 to 10 minutes.

%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory [SYS$I18N.MESSAGES.US
ER.CS_CZ_ISO8859-2].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory [SYS$I18N.MESSAGES.SY
STEM.CS_CZ_ISO8859-2].

...略...
```

XPG4 ロケール・データ・ファイルのインストール例

```
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory [SYS$I18N.ICONV.USER]
.
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory [SYS$I18N.LOCALES.USE
R].
```

Your OpenVMS system will now be updated to include the following new files:

```
SYS$TEST:LOCALE_IVP.COM
SYS$TEST:LOCALE_IVP.EXE
SYS$I18N_LOCALE:JA_JP_DECKANJI.LOCALE          (Japanese)
SYS$I18N_LOCALE:JA_JP_EUCJP.LOCALE            (Japanese)
SYS$I18N_LOCALE:JA_JP_SDECKANJI.LOCALE        (Japanese)
SYS$I18N_LOCALE:JA_JP_SJIS.LOCALE             (Japanese)
SYS$I18N_LOCALE:EUCJP.CMAP
SYS$I18N_LOCALE:DECKANJI.CMAP
SYS$I18N_LOCALE:SDECKANJI.CMAP
SYS$I18N_LOCALE:SJIS.CMAP
SYS$I18N_ICONV:DECKANJI_EUCJP.ICONV
SYS$I18N_ICONV:DECKANJI_ISO2022JP.ICONV
SYS$I18N_ICONV:DECKANJI_SDECKANJI.ICONV
SYS$I18N_ICONV:DECKANJI_SJIS.ICONV
SYS$I18N_ICONV:EUCJP_SDECKANJI.ICONV
SYS$I18N_ICONV:EUCJP_DECKANJI.ICONV
SYS$I18N_ICONV:EUCJP_SJIS.ICONV
SYS$I18N_ICONV:ISO2022JP_DECKANJI.ICONV
SYS$I18N_ICONV:ISO2022JP_SDECKANJI.ICONV
SYS$I18N_ICONV:SDECKANJI_DECKANJI.ICONV
SYS$I18N_ICONV:SDECKANJI_EUCJP.ICONV
SYS$I18N_ICONV:SDECKANJI_ISO2022JP.ICONV
SYS$I18N_ICONV:SDECKANJI_SJIS.ICONV
SYS$I18N_ICONV:SJIS_DECKANJI.ICONV
SYS$I18N_ICONV:SJIS_EUCJP.ICONV
SYS$I18N_ICONV:SJIS_SDECKANJI.ICONV
```

```
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set B ...
```

```
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...
```

Copyright 2001 Compaq Computer Corporation. All rights reserved.

```
*-----*
*   Installation Verification Procedure   *
*   for XPG4 Internationalization Components *
*-----*
```

```
** XPG4 Internationalization Components Installation Verification Procedure **
```

```
** Ending at 31-JUL-2002 15:01:29.11 **
```

XPG4 ロケール・データ・ファイルのインストール例

```
Installation of ALPVMSI18N02_ V7.3 completed at 15:01
Adding history entry in VMI$ROOT:[SYSUPD]VMSINSTAL.HISTORY
Creating installation data file: VMI$ROOT:[SYSUPD]ALPVMSI18N02_073.VMI_DATA

VMSINSTAL procedure done at 15:02
```

\$

インストール検証プロシージャ (IVP) の出力例

日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムのインストール検証プロシージャ (IVP) が、正常に終了した場合の出力例を以下に示します。

例

```
$ @ sys$test:jsy$ivp

Installation Verification Procedure
for OpenVMS/Japanese Alpha Operating System Version 7.3

COPYRIGHT (C) 2001 Compaq Information Technologies Group, L.P.
ALL RIGHTS RESERVED.

* * * * *
*
*      Beginning of the Installation Verification Procedure      *
*                  for OpenVMS/Japanese Alpha V7.3              *
*
* * * * *

* Running CMGR IVP...
* Running FIP IVP...
* Running JCOBOL RTL IVP...
* Running JDICEDIT IVP...
* Running JMAIL IVP...
* Running J-SORT/MERGE IVP...
* Running KANJIGEN IVP...
* Running KCODE IVP...
```

インストール検証プロセス (IVP) の出力例

```
* Running KCONVERT IVP...
* Running KINQUIRE IVP...
* Running NCOBOL RTL IVP...
* Running TMH IVP...
* Running DEC XTPU IVP...
* Running JSNA IVP...
* * * * *
*
* End of OpenVMS/Japanese Alpha V7.3 Installation Verification Procedure *
*
*          ===== SUCCESSFUL =====
*
* * * * *
$
```

D

ファイル一覧

この章では、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムが使用するファイルの一覧を示します。

D.1 JSY\$DICTIONARY

JSYTANGO.JISHO	かな漢字変換用システム辞書
----------------	---------------

D.2 JSY\$EXAMPLES

EXAMPLE_FONTS.PRE	フォント・データ例
GETINPUT.C	漢字入出力プログラム例 (C)
GETINPUT.FOR	漢字入出力プログラム例 (FORTRAN)
GETINPUT.MAR	漢字入出力プログラム例 (MACRO)
IMSKEY_COMMON_BODY.DAT	IMLIB 用キー定義ファイル本体
IMSKEY_COMMON_BODY_LEVEL2.DAT	IMLIB 用キー定義ファイル本体
IMSKEY_EVEJ.DAT	IMLIB 用 EVEJ キー定義マクロ (テキスト)
IMSKEY_EVEJ_LEVEL2.DAT	IMLIB 用 EVEJ キー定義マクロ (テキスト)
IMSKEY_JVMS.DAT	IMLIB 用 JVMS キー定義マクロ (テキスト)
IMSKEY_JVMS_LEVEL2.DAT	IMLIB 用 JVMS キー定義マクロ (テキスト)

ファイル一覧
D.2 JSY\$EXAMPLES

IMSKEY_LEIA.DAT	IMLIB 用 LEIA キー定義マクロ (テキスト)
IMSKEY_LEIA_LEVEL2.DAT	IMLIB 用 LEIA キー定義マクロ (テキスト)
IMSKEY_TARO.DAT	IMLIB 用 TARO キー定義マクロ (テキスト)
IMSKEY_TARO_LEVEL2.DAT	IMLIB 用 TARO キー定義マクロ (テキスト)
IMSKEY_TARO_BODY.DAT	IMLIB 用 TARO キー定義 (テキスト)
IMSKEY_TARO_BODY_LEVEL2.DAT	IMLIB 用 TARO キー定義 (テキスト)
IMSROMKANA_DB.TEMPLATE	ローマ字かな変換テーブル
TANGOFOR.FOR	かな漢字変換ルーチン使用例 (FORTRAN)
TRANCE.EXE	漢字コード変換プログラム
TRANCE.TXT	漢字コード変換プログラム使用方法のメモ

D.3 JSY\$HELP

JDICEDIT.HLB	JDICEDIT ヘルプ
JMAILHELP.HLB	JMAIL ヘルプ
JSY\$CONTROL.HLB	日本語環境設定ユーティリティ・ヘルプ
JSYHELP.HLB	日本語システム・ヘルプ

D.4 JSY\$LIBRARY

JSYDEF.FOR	かな漢字変換定数定義 (FORTRAN)
JSYDEF.H	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (C)
JSYDEF.L32	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (BLISS-32)
JSYDEF.MAR	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (MACRO)
JSYDEF.PAS	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (PASCAL)
JSYDEF.PLI	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (PL/I)

JSYDEF.R32	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (BLISS-32)
JSYLIB.OLB	日本語処理ルーチン・オブジェクト・ライブラリ
JSYSHR.OPT	JSYSHR LINK 用オプション・パラメータ

D.5 JSY\$SYSTEM

CONVKOJIN83.COM	個人辞書を DEC 漢字 1983 年版に変換する プロシージャ
DEV_ATTR.EXE	漢字端末設定用 (KANJI TERM.COM が使用する)
FONTHANDL.EXE	フォント・ハンドラ
JDICEDIT.EXE	JDICEDIT 辞書編集ユーティリティ
JMAIL.EXE	JMAIL 日本語メール・ユーティリティ
JMAILEDIT.COM	JMAIL EDIT コマンド・プロシージャ
JMAIL_OLD.EXE	旧バージョンの JMAIL 日本語メール・ ユーティリティ
JSY\$CHARACTER_INDEX.DAT	CMGR 文字データ用インデックス・ファイル
JSY\$CHARACTER_MASTER_ INDEX.DAT	CMGR 文字データ用マスタ・ インデックス・ファイル
JSY\$DECKANJI_CODE_INFO.DAT	CMGR 用 DEC 漢字文字セット情報ファイル
JSY\$GLYPH_xxXxx_JIS2.GDB	CMGR 用フォント・データベース (xx ドット, JIS 第 2 水準文字)
JSY\$GLYPH_xxXxx.USER.GDB	CMGR 用フォント・データベース (xx ドット, ユーザ定義文字)
JSY\$GOTHIC_xxXxx_JIS2.GDB	CMGR 用フォント・データベース (xx ドット, JIS 第 2 水準文字)
JSY\$GOTHIC_xxXxx.USER.GDB	CMGR 用フォント・データベース (xx ドット, ユーザ定義文字)
JSY\$GOTHIC_CHARACTER. INDEX.DAT	CMGR 文字データ用インデックス・ファイル
JSY\$JAPAN_SPECIFIC.DAT	CMGR 用国別情報ファイル
JSY\$MSGBUILD.COM	日本語メッセージ再構成用コマンド・ プロシージャ

ファイル一覧
D.5 JSY\$SYSTEM

JSY\$MSGMERGE.EXE	日本語メッセージ再構成用実行イメージ
JSY\$MSG_TEXT.DAT	日本語メッセージ再構成用データ・ファイル
JSY\$SWITCH.COM	メッセージ/ヘルプ切り替えコマンド・ プロシージャ
KANJIGEN.EXE	KANJIGEN ユーティリティ
KANJITERM.COM	漢字端末設定用コマンド・プロシージャ
KANJIUP.COM	漢字端末設定コマンド・プロシージャ (ユーザ作成)
KCODE.EXE	KCODE 漢字コード変換ユーティリティ
KCONV.EXE	KCONVERT DEC 漢字コード変換 ユーティリティ
KCV78TO83.TABLE	KCONVERT 用漢字コード変換指定 テーブル (DEC1978 DEC1983)
KCV83TO78.TABLE	KCONVERT 用漢字コード変換指定 テーブル (DEC1983 DEC1978)
KEISEN.PRE	DEC 罫線のプリロード・ファイル
KINQ.EXE	KINQUIRE 日本語 INQUIRE

D.6 JSY\$TEST

IVP_TESTS.DAT	IVP 用データ・ファイル
F_XXXX.DAT	日本語 OpenVMS Alpha の各ユーティリティの IVP に使う入力データ
IVP_XXXX.COM	日本語 OpenVMS Alpha の各ユーティリティの IVP コマンド・プロシージャ
JCO\$IVP.COM	JCOBOL の IVP コマンド・プロシージャ
JSY\$IVP_CMGR24.PRE	CMGR の IVP 用データ・ファイル
JSY\$IVP_CMGR40.PRE	CMGR の IVP 用データ・ファイル
JSY\$IVP_JDICEDIT.JISHO	JDICEDIT の IVP に使う辞書ファイル
JCO\$IVP_TV.EXE	JCOBOL の IVP に使うイメージ・ファイル
NCO\$IVP.COM	NCOBOL の IVP コマンド・プロシージャ

NCOSIVP_TV.EXE	NCOBOL の IVP に使うイメージ・ファイル
SORSIVP.DAT	JSORT の IVP 用データ・ファイル
SORSIVPIN.DAT	JSORT の IVP 用入力データ・ファイル

D.7 SYS\$COMMON:[SYS\$KEYMAP.DECW.SYSTEM]

JAPANESE_LKxxxxJ .DECW\$KEYMAP	日本語 Compaq DECwindows Motif 用の キーマップ・ファイル
JAPANESE_PCXAJAA_xx .DECW\$KEYMAP	日本語 Compaq DECwindows Motif 用の キーマップ・ファイル

D.8 SYS\$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]

JDECW_xxxx.PCF	日本語 Compaq DECwindows Motif 用の フォント・ファイル (75DPI)
----------------	-----------------------------------------------------

D.9 SYS\$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]

JDECW_xxxx_100DPI.PCF	日本語 Compaq DECwindows Motif 用の フォント・ファイル (100DPI)
-----------------------	------------------------------------------------------

ファイル一覧

D.10 SYS\$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]

D.10 SYS\$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]

DEC\$FONT_ALIAS_
KANJI.DAT

日本語 Compaq DECwindows Motif 用のキーマップの例

D.11 SYS\$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]

CMGREDIT.HLB	CMGR の EDIT コマンドの日本語ヘルプ
CMGRHELP.HLB	CMGR の日本語ヘルプ
DBG\$HELP.HLB	日本語版デバッガ・ヘルプ
HELPLIB.HLB	日本語版ヘルプ
JSY\$KANJIENHELP.HLB	KANJIGEN の日本語ヘルプ
MAILHELP.HLB	日本語版 MAIL ヘルプ
PHONEHELP.HLB	日本語版 PHONE ヘルプ

D.12 SYS\$COMMON:[SYSMSG.JA_JP]

CLIUTLMSG.EXE	日本語版 CLIUTL メッセージ
CMGRMSG.EXE	日本語版 CMGR メッセージ

D.13 SYS\$HELP

CMGREDIT.HLB	CMGR の EDIT コマンドのためのヘルプ
CMGRHELP.HLB	CMGR のヘルプ
JSY\$AXP0731.RELEASE_NOTES	日本語 OpenVMS V7.3-1 リリース・ノート
JSY\$KANJIGENHELP.HLB	KANJIGEN の英語ヘルプ
XTPU\$HELP.HLB	DEC XTPU のヘルプ
JEVE\$HELP_V3.HLB	日本語 EVE のヘルプ
JEVE\$KEYHELP_V3.HLB	日本語 EVE のヘルプ
JEVE\$DWHHELP.HLB	日本語 EVE のヘルプ

D.14 SYS\$LIBRARY

CMGRDISPSHR.EXE	CMGR 画面管理用共有可能イメージ
CMGRSHR.EXE	CMGR 共有可能イメージ
FIPMSG.H	FIP メッセージのヘッダ・ファイル
FIPSHR.EXE	FIP 共有可能イメージ
HMDEF.H	HM API ヘッダ・ファイル (C)
HMDEF.R32	HM API ヘッダ・ファイル (BLISS_32)
IM\$ARKSHR.EXE	自動ローマ字かな変換モジュールの共有可能イメージ
IM\$DEF.FOR	IMLIB の FORTRAN 用ヘッダ・ファイル
IM\$DEF.H	IMLIB の C 用ヘッダ・ファイル
IM\$DEF.R32	IMLIB の BLISS 用ヘッダ・ファイル
IM\$HMJSYVECSHR.EXE	日本語システムのインターフェイス
IM\$HMSHR.EXE	変換モジュールの共有可能イメージ
IM\$KEY_EVEJ.IM\$DAT	IMLIB 用 EVEJ キー定義 (バイナリ)
IM\$KEY_EVEJ_LEVLE2.IM\$DAT	IMLIB 用 EVEJ キー定義 (バイナリ)

ファイル一覧
D.14 SYS\$LIBRARY

IMSKEY_JVMS.IM\$DAT	IMLIB 用 JVMS キー定義 (バイナリ)
IMSKEY_JVMS_LEVEL2.IM\$DAT	IMLIB 用 JVMS キー定義 (バイナリ)
IMSKEY_LEIA.IM\$DAT	IMLIB 用 LEIA キー定義 (バイナリ)
IMSKEY_LEIA_LEVEL2.IM\$DAT	IMLIB 用 LEIA キー定義 (バイナリ)
IMSKEY_TARO.IM\$DAT	IMLIB 用 TARO キー定義 (バイナリ)
IMSKEY_TARO_LEVEL2.IM\$DAT	IMLIB 用 TARO キー定義 (バイナリ)
IM\$KKCSHR.EXE	かな漢字変換共有インターフェイス・イメージ
IM\$PROFILE.DAT	IMLIB 用標準 PROFILE
IM\$PROFILE_EVEJ.DAT	IMLIB 用 EVEJ キー PROFILE
IM\$PROFILE_LEIA.DAT	IMLIB 用 LEIA キー PROFILE
IM\$PROFILE_TARO.DAT	IMLIB 用 TARO キー PROFILE
IM\$SHR.EXE	変換キー定義ライブラリ (IMLIB)
IM\$SHR.IIF	変換キー定義ライブラリの IIF ファイル (IMLIB)
JCORTL.IIF	VAX 日本語 COBOL ランタイム・ライブラリの IIF ファイル
JCORTL_TV.EXE	VAX 日本語 COBOL ランタイム・ライブラリ
JEVESSECTION_V3.XTPUSSECTION	日本語 EVE のセクション・ファイル
JEVESWIDGETS_MOTIF.UID	日本語 EVE の DECwindow/Motif 用の UID ファイル
JEVE_V3.DAT	日本語 EVE V3 のリソース・ファイル
JMAILSHR.EXE	JMAIL ランタイム・ライブラリ
JMAILSHRP.EXE	JMAIL ランタイム・ライブラリ
JSYDEF.FOR	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (FORTRAN)
JSYDEF.H	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (C)
JSYDEF.L32	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (BLISS-32)
JSYDEF.MAR	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (MACRO)
JSYDEF.PAS	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (PASCAL)
JSYDEF.PLI	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (PL/I)
JSYDEF.R32	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (BLISS-32)

JSY\$SMGDEF.FOR	日本語 SMG ステータス定義 (FORTRAN)
JSY\$SMGDEF.H	日本語 SMG ステータス定義 (C)
JSY\$SMGDEF.L32	日本語 SMG ステータス定義 (BLISS-32)
JSY\$SMGDEF.MAR	日本語 SMG ステータス定義 (MACRO)
JSY\$SMGDEF.PAS	日本語 SMG ステータス定義 (PASCAL)
JSY\$SMGDEF.PLI	日本語 SMG ステータス定義 (PL/I)
JSY\$SMGDEF.R32	日本語 SMG ステータス定義 (BLISS-32)
JSY\$SMGSHR.EXE	日本語 SMG 共有可能イメージ
JSY\$SMGSHR.IIF	日本語 SMG 共有可能イメージの IIF ファイル
JSY\$UTIL\$SHARE.EXE	日本語ページ表示共有イメージ
JSYSHR.EXE	日本語処理ランタイム・ライブラリ
JSYSHR.IIF	日本語処理ランタイム・ライブラリの IIF ファイル
JSYSHRP.EXE	日本語処理ランタイム・ライブラリ
NCORTL.IIF	VAX 日本語 COBOL ランタイム・ライブラリ の IIF ファイル
NCORTL_TV.EXE	VAX 日本語 COBOL ランタイム・ライブラリ
SORJPNICT.EXE	SORT/MERGE 日本語辞書ファイル
SORTDTYPE.EXE	SORT/MERGE 共有可能イメージ (日本語機能)
XTPU\$CCTSHR.EXE	DEC XTPU のキャラクタセル端末用の 共有可能イメージ
XTPU\$CSSHR_JA_JP.EXE	DEC XTPU の日本語コード変換用の 共有可能イメージ
XTPU\$DEBUG.TPU	DEC XTPU のデバッグ用のコマンド・ ファイル
XTPU\$MOTIFSHR.EXE	DEC XTPU の Motif 用イメージ
XTPU.DAT	DEC XTPU の Motif 用データ・ファイル
XTPUSHR.EXE	DEC XTPU の共有可能イメージ

D.15 SYS\$LOADABLE_IMAGES

JSY\$ASDRIVER.EXE	TTDRIVER の補助ドライバ
JSY\$FHDRIVER.EXE	フォントハンドラ用のドライバ
JSY\$FIDRIVER.EXE	FIP 用のドライバ
JSY\$RMS_EXTENSION.EXE	DDIF 日本語サポート用イメージ
SYSS\$IKBDRIVER.EXE	標準版キーボード・ドライバ修正イメージ

D.16 SYS\$MESSAGE

CMGRMSG.EXE	CMGR メッセージ・ファイル
FIPMSG.EXE	FIP メッセージ・ファイル
IM\$MESSAGE.EXE	IMLIB メッセージ・ファイル
JMAILMSG.EXE	JMAIL メッセージ・ファイル
XTPUMSG.EXE	DEC XTPU のメッセージ・ファイル

D.17 SYS\$STARTUP

FIP\$STARTUP.COM	FIP のスタートアップ・コマンド
IM\$STARTUP.COM	IMLIB のスタートアップ・コマンド
JSY\$CONFIG.COM	日本語システムの論理名を定義するコマンド
JSY\$DT_STARTUP.COM	日本語ライブラリの元号を定義するコマンド
JSY\$DT_STARTUP.TEMPLATE	日本語ライブラリの元号を定義するテンプレート

JSY\$STARTUP.COM	日本語システム・スタートアップ・コマンド
JSY\$STARTUP.TEMPLATE	日本語システム・スタートアップ・テンプレート
XTPU\$STARTUP.COM	DEC XTPU のスタートアップ・コマンド

D.18 SYS\$SYSTEM

CMGR.EXE	CMGR 実行イメージ
FIP.EXE	FIP 実行イメージ
FIP\$CONTROL.EXE	INPUT コマンド実行イメージ
FIP\$SUB.EXE	FIP\$SUB 実行イメージ
IM\$KEYBIND.EXE	KEYBIND コマンド
JSY\$BACKUP.EXE	日本語バックアップ実行イメージ
JSY\$CONFIG.EXE	日本語システムの論理名の定義
JSY\$CONTROL.EXE	日本語環境設定ユーティリティ
JSY\$LATSYSM.EXE	LAT 接続の漢字プリンタ用シンビオント
JSY\$LOAD_IMAGE.EXE	日本語システムのイメージ・ローダ
JSY\$PRTSMB.EXE	ホスト接続の漢字プリンタ用シンビオント
JSY\$SETSHOSECUR.EXE	日本語セキュリティ・ユーティリティ
SMGBLDTRM.EXE	TERMTABLE のコンパイラ
SMGTERMS.TXT	端末の属性定義ファイル
TERMTABLE.EXE	端末の属性定義イメージ
TYPE.EXE	DCL TYPE ユーティリティ
XTPU.EXE	DEC XTPU の実行イメージ

D.19 SYS\$TEST

JSYS\$IVP.COM

日本語 OpenVMS Alpha の IVP コマンド
・ プロシージャ

D.20 XTPU\$EXAMPLES

CALLABLE_EXMAPLE.C	他のプログラムから DEC XTPU を呼ぶ例 (C 言語)
EVE\$xxxx.TPU	日本語 EVE のソース・コード
JEVE\$EVEJ-TARO.EVE	日本語 EVE を TARO キー定義で使い、数字キーパッド を EVEJ と同じ定義にするための初期化ファイル
JEVE\$INIT_V3.EVE	日本語 EVE V3 初期化ファイルの例
JEVE\$MASTER.FILE	日本語 EVE のビルド用マスター・ファイル
JEVE\$SAMPLE_INIT.EVE	日本語 EVE の初期化ファイルの例
JEVE\$VERSION.DAT	日本語 EVE のソース・コード
JEVE\$xxxx.TPU	日本語 EVE のソース・コード
JEVE\$xxxx.UIL	日本語 EVE のソース・コード
SIMPLE.C	単純なコール可能 I/F を使った例 (C)
SIMPLE.COM	単純なコール可能 I/F のためのコマンド・ プロシージャ
SIMPLE.OPT	単純なコール可能 I/F のオプション・ファイル
XTPU_EXAMPLES.TXT	DEC XTPU の例題ファイルの簡単な説明

索引

A

AUTOGEN 1-8

I

IVP 3-1
 実行の中止 3-3
 出力例 C-1

J

JSY\$DICTIONARY D-1
JSY\$EXAMPLES D-1
JSY\$HELP D-2
JSY\$IVP.COM 3-1, 3-2
JSY\$LIBRARY D-2
JSY\$SYSTEM D-3
JSY\$TEST 5-3, D-4
JSY\$TEST:ERROR.DAT 3-2

L

LICENSE REGISTER 1-2

O

OpenVMS Alpha ライセンス・マネジメント・
 ファシリティ 1-2

P

PAK 1-2
PCSI 2-1
PCSI キット 1-1
POLYCENTER ソフトウェア・インストレー
 ション・ユーティリティ
 使用 2-2
POLYCENTER ソフトウェア・インストレー
 ション・ユーティリティ 2-1

S

SYSSCOMMON:
 [SYSSKEYMAP.DECW.SYSTEM] .. D-5
 [SYSSFONT.DECW.100DPI] D-5
 [SYSSFONT.DECW.75DPI] D-5
 [SYSSHLP.EXAMPLES.DECW] D-6
 [SYSSHLP.JA_JP] D-6
 [SYSSMSG.JA_JP] D-6
SYSSHELP D-7
SYSSLIBRARY D-7
SYSSLOADABLE_IMAGES D-10
SYSSMANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM
 4-1
 復旧 4-3
SYSSMESSAGE D-10
SYSSSTARTUP D-10
SYSSSTARTUP:JSY\$STARTUP.COM
 5-3
SYSSSYSTEM D-11
SYSSSYSTEM:MODPARAMS.DAT 1-8
SYSSTEST 3-1, D-12
SYSSUPDATE:VMSLICENSE.COM ... 1-2

T

TTDRIVER 5-3
TTY_CLASSNAME 5-3

V

VMSI18N072
インストールの例 B-1

X

XPG4
ロケール・データ・ファイル 1-3
インストール 1-11
XPG4 ロケール・データ・ファイル
インストールの例 B-1
XTPUSEXAMPLES D-12

ア

アップグレード後の作業 4-3

イ

イニシャル・インストール後の作業 4-1
インストール前の準備 1-1
インストール 2-1
検証 3-1
後の作業 4-1
必要な時間 1-5
必要な特権 1-5
インストール検証プロシージャ (IVP)
出力例 C-1
インストールの例 A-1

エ

エラー・リカバリ 5-1

カ

漢字ターミナルの設定 4-2

ク

グローバル・セクション 1-6, 5-2
グローバル・セクションの値 1-8
グローバル・ページ 1-6, 5-2
グローバル・ページの 1-8

ケ

検証エラー 5-3

シ

システム・ディスクのバックアップ 1-9

タ

端末装置 1-3

テ

ディスク装置 1-3
ディストリビューション・キット 1-1

ニ

日本語 Compaq DECwindows Motif
インストール 1-11
言語設定 4-3
言語設定の変更 1-9
削除 1-10
日本語 Compaq OpenVMS Alpha
インストール検証プロシージャ
(IVP) 3-1
インストールの例 A-1
システムのスタートアップ 4-1
ファイル一覧 D-1
日本語 OpenVMS Alpha
インストール 2-2

日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム

構成	1-1
日本語スタートアップの追加	4-1
日本語版インストレーション	2-1
日本語ロケールの設定	4-2, 4-3

ハ

ハードウェアの最小構成	1-3
-------------	-----

ヒ

必要なシステム・パラメータ	1-6
必要なソフトウェア	1-3
必要なディスク容量	1-5

へ

ページレット	1-7
--------	-----

メ

メイン・メモリ	1-3
---------	-----

モ

問題点の通知	4-4
--------	-----

ユ

ユーティリティ・テスト名	3-2
--------------	-----

ラ

ライセンス情報	1-2
ライセンスの登録	1-2

日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム
V7.3-1 インストール・ガイド

2002 年 10 月 発行

コンパックコンピュータ株式会社

〒 140-8641 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー

電話 (03)5463-6600 (大代表)

AA-PU8JK-TE

